

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010361

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B	
単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	オタコムシュベツ川改修事業	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	河川改修面積		#N/A	
事業目標	A=514m,L=500m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	護岸工 A=514㎡ 土砂除去 L=500m		護岸工 A=120㎡	護岸工 A=128㎡	護岸工 A=116㎡	護岸工 A=150㎡ 土砂除去 L=500m	
	事業費(千円)	33,400	0	6,000	6,700	7,300	13,400
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
実績事業費	事業費(千円)	32,616	0	5,832	6,480	7,128	13,176
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	特定財源の名称 (H29～基金対応)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		護岸工 A=120㎡	護岸工 A=128㎡	護岸工 A=116㎡	護岸工 A=150㎡ 土砂除去 L=500m	
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	120㎡	128㎡	116㎡	150㎡、500m	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	97%	97%	98%	
		全体達成率	0%	17%	37%	58%	
		備考欄					

事業名	オタクムシュベツ川改修事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	①護岸面積、②土砂除去	
【抱える課題やニーズは】	豪雨、融雪出水に伴う河岸決壊による背後地への被害並びに草地への浸水	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	護岸工による河岸の復旧、土砂除去による流下能力の確保	① 護岸面積/護岸面積	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	背後地並びに草地への被害拡大の防止		目標値	150 m ²
			実績値	150 m ²
			達成度	100.0 %
		② 土砂除去/土砂除去	目標年度	平成29年度
			目標値	500 m
			実績値	500 m
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、河川改修を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町管理となる河川の河岸決壊並びに草地への浸水の被害防止は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	河川改修を実施したことにより、背後地並びに草地への被害を未然に防ぐことができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	背後地並びに草地への被害を未然に防止できたことは、事業費の抑制となり、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	背後地並びに草地への被害を未然に防止できたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
平成29年度事業終了。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 休止 廃止